予算特別委員会（全体会） 記録

開 会 年 月 日	平成 29 年 3 月 23 日
開 会 時 刻	午後 0 時 59 分
散 会 時 刻	午後 1 時 34 分
出 席 委 員 名	◎世古 明 ○吉岡 勝裕 上村 和生 北村 勝
	楠木 宏彦 鈴木 豊司 野崎 隆太 吉井 詩子
	野口 佳子 岡田 善行 福井 輝夫 辻 孝記
	品川 幸久 藤原 清史 山根 隆司 黒木騎代春
	西山 則夫 世古 明 小山 敏 杉村 定男
	工村 一三 山本 正一 佐之井久紀 宿 典泰
	世古口新吾 中村 豊治 中山 裕司
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	上村 和生 北村 勝
担 当 書 記	森田 晃司
審 議 案 件	議案第 1 号 平成 29 年度伊勢市一般会計予算外 9 件一括
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査の経過ならびに概要

世古委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に上村委員、北村委員を指名。その後直ちに「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題とし、各分科会長からの審査報告の後、討論を行い、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については、正副委員長に一任することで決定した。

なお、一括10議案の起立採決の結果、「議案第1号」、「議案第4号」については賛成多数、他の8議案については、それぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。その概要は以下のとおりである。

開議 午後0時59分

◎世古明委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名は、当初決定のとおり、上村委員、北村委員の御兩名を指名いたします。

それでは、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に、産業建設分科会、上田会長からお願いいたします。

上田会長。

○上田修一産業建設分科会会長

それでは、去る3月6日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外5件につきまして、審査の経過並びにその結果を報告申し上げます。

当分科会は、3月9日に審査を行い、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第5号平成29年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第6号平成29年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第7号平成29年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第9号平成29年度伊勢市水道事業会計予算」

及び「議案第10号平成29年度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分のうち、歳出でございますが、労働費においては、サンライフ伊勢に新たに配置されるインストラクターの適正な指導体制について、若者の就労支援では、一度就職した方の離職抑制のための原因調査を希望する意見がありました。

農林水産業費においては、法改正に伴って新たな組織となる農業委員会について、地域農業の育成等に係る体制の強化をしていくこと、農産物のブランド化で品目を作る体制の指導対応を期待する、また、市外へのPRの観点から観光及び商工部門との連携が必要であること、6次産業化では、機運を盛り上げていくために、交流会の開催を期待する、新規就農者の支援では、今後の事業継続には検証が必要である、地産地消はどれだけ地元で消費していけるかが大切であることから、調査が必要であること、水産物の移動販売では、農産物との連携や市内の関係者の所得向上につながるよう期待する、干潟保全は漁獲高が減っていることから、もう一步踏み込んだ対応を求める意見がありました。

商工費においては、創業支援事業では、産業支援センターのさらなる活用及びホームページによる市外への効果的なPRについて、プレミアム付地域商品券は地域活性化の観点から民間企業との連携をしていくこと、企業立地の取組は、企業誘致に対してさらなる取組と企業の市外への流出の抑制を求める意見がありました。

観光費においては、内宮前周辺のトイレ整備では、観光の玄関口にふさわしいものを期待する、花火大会開催事業はコスト等の観点から今後の開催場所の見直しも必要であるとの意見がありました。

土木費においては、地籍調査を計画に基づきいち早く進める必要があること、道路の直営維持管理の体制の改善を求める、市民からの要望に対して道路の危険な部分への早急な対応が急務であること、踏切道の南北分断の解決に向けての対策が必要であること、空き家バンクは制度の確立に向けて関係する民間団体との連携及び市外へのPRの充実を期待する意見がありました。

教育費においては、全国高校総体開催は、地域の活性化につながるよう観光協会及び民間企業との連携の推進について意見がありました。

次に、歳入でございますが、使用料及び手数料において、パトロール等でしっかりとした実態調査を行って、不公平が生じないよう適切な対応を求める意見がありました。

県支出金においては、補助金の将来的な活用方法の検討を求める意見がありました。

次に、特別会計でございますが、住宅新築資金等貸付事業においては、貸付金の滞納に対して、回収にさらなる努力を期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業においては、工事に当たっては、他課の工事とも連携した計画的な施工を求める意見、また、下水道事業においては、人口減少で厳しい経営状況になっていくことが見込まれることから、今後の下水道整備のあり方の見直しの必要性について意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎世古明委員長

以上で、産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

ないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、教育民生分科会、品川会長、お願いいたします。

品川会長。

○品川幸久教育民生分科会会長

御報告申し上げます。去る3月6日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月10日に審査を行いました。「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第2号平成29年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第3号平成29年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第4号平成29年度伊勢市介護保険特別会計予算」及び「議案第8号平成29年度伊勢市病院事業会計」は、原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見といたしましては、一般会計予算中、当分科会関係分のうち、歳出でございますが、民生費においては、健幸ポイント事業では、さらなる事業の拡大並びに利用者の声に基づいた改善及び地域での取組を求める、障がい者施設の自主製品の販路拡大及びブランド化を期待する、生活困窮者自立支援事業では、新たに配置されるコミュニティソーシャルワーカーと地域や他の相談機関との連携を期待する、学習支援事業の制度の周知及び対象年齢の拡大を求める、放課後児童クラブは、各クラブで格差が生じないように、また利用者の声を反映した預かり時間の延長及び共働き世帯の増加などの将来を見据えた対応について検討を求める、子ども発達支援は早期の対応及び保育から教育への途切れのない支援について意見がありました。

衛生費においては、歯周病検診事業は早い段階での取組が必要であることから対象年齢の拡大を求める、産後ケア事業の対象者は、個々の事情を勘案して対象者を広げていくこと、並びに切れ目のない支援及び関係機関との連携強化が必要であるとの意見がありました。

消防費においては、災害時要援護者対策事業は要援護者の避難支援計画のようなかたちで一人一人考えていくことを期待する意見がありました。

教育費においては、英語力向上推進事業は子供たちの英語検定の受験の成果等に期待する、ICT教育では、学校の学習用パソコンのリースなどを用いた計画的な更新と機器の整備充実を求める、子ども輝き生き生き総合推進事業は子どもの権利条約による教職員のしっかりとした研修を求める、総合型地域スポーツクラブでは、活動支援及びクラブ間の交流の活発化、並びに障がい者の運動参加の機会拡大及び障がい者スポーツの振興を求

める意見がありました。

次に、歳入においては、じんかい収集車の企業広告収入が年々減少していることから、収入増加に向けて努力を求める意見がありました。

次に、特別会計でございますが、介護保険特別会計においては、地域包括ケアシステム及び日常生活支援総合事業の平成29年度実施に向けてさらなる市民への啓発、並びに地域包括支援センターの機能強化の必要性を求める意見がありました。

次に、企業会計でございますが、病院事業会計において、財政収支計画に基づいた予算編成がなされているはずであるが、前年度予算と比較して全く差異が見られず改善の兆しがない、公営企業として収益を上げていくためには、不足している医師を確保すべきだが結果が見えていないので、さらなる努力に期待する、医療機器等を整備して医療の質の向上を目指すことが初期研修医の確保につながる、患者を増やすために地域医療との連携をさらに進めていくことを求める、経営の数字を見るとかなり厳しい現実がある、毎年基準外繰入金当初見込みの額を守れずに補正予算で対応しているが、守る努力をしていくことが必要であるとの意見がありました。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎世古明委員長

以上で、教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

ないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、西山会長、お願いいたします。

西山会長。

○西山則夫総務政策分科会会長

去る3月6日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月13日に審査を行いました。議案第1号中当分科会関係分については、原案どおり可決することに多数に異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中、当分科会関係分の歳出でございますが、総務費において、行財政改革推進事業は、客観的な指標による市民の評価が必要であること、また、行政改革指針に一定の評価はするが、病院の建設及び小中学校の適正規模化・適正配置並びに公共施設の維持更新に多額の財政負担がある中で、新たな視点に立った取組を求める意見がありました。

企画推進事業においては、総合計画推進事業は、新たな第三次総合計画を策定するに

当たっては、ワークショップ等による住民参画の充実を求める、定住自立圏構想推進事業は、共生ビジョンの効果や成果を示す必要がある、ふるさと応援寄附推進事業は、返礼品については、産業の活性化等の視点からも伊勢市をアピールできるような特産品や企業の製品、期間限定品等の幅広い取組を求める意見がありました。

出会い・結婚支援事業については、声かけや訪問等による民間企業との連携を図ることで事業のさらなる充実を期待する、また、出会い支援センターの利用がしやすくなるための情報発信等について、さらなる改善を望む意見がありました。

地域自治の推進については、ふるさと未来づくり事業は、これまでも二重行政であるという指摘もあったが、現状のまま進んでいってよいのか検討が必要である、また、市民にまちづくり協議会の活動そのものが新たな地域自治の仕組みであるという認識や、理解を求める取組が必要である、地域の自治を推進していくことで、行政事務の効率化が達成できるという考え方も必要である、地域に力を持って貰うことが最終的にまちづくりに繋がることを期待する意見がありました。

選挙費においては、今年の秋に市長及び市議会議員選挙が行われるが、選挙の啓発や周知の方法について、大学や高校にポスターを掲示する等の新たな取組に加えて、商業施設への投票所の設置等の地域にあった対応を期待する、選挙の投票率低下への対応策として、期日前投票に際して、バスを利用した移動投票所の設置等による投票しやすい環境づくりが必要であるとの意見がありました。

民生費においては、人権政策について、性的マイノリティに係る総合的な相談窓口の設置や、当事者への配慮を一番に考えた取組を期待する意見がありました。

消防費においては、地域防災力向上支援事業は、避難所においてきめ細やかな対策を要することから、女性の地域防災リーダーの育成を期待する、避難対策事業は、熊本地震において車での避難移動、車中での避難が課題になっていたが、避難所に行けない市民への物資の配給等の避難時の状況把握について対策を求める意見がありました。

次に、歳入でございますが、市民税について個人、法人とも減額でありながら、固定資産税は増額になっており、相反する状況をどう分析しているかを確認する意見がありました。

なお、歳出において、住民税の特別徴収決定通知書にマイナンバーを記載することについての考え方を整理すべきであり、マイナンバー制度に懸念するため賛成できないとの反対の意見があったことを申し添えます。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎世古明委員長

以上で、総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

質疑もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

これをもって各分科会会長報告の質疑は終わります。

続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑は終わります。

続いて、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外9件一括に対する討論を行います。討論はございませんか。

暫時休憩します。

休憩 午後1時22分

再開 午後1時22分

◎世古明委員長

休憩を解き会議を開きます。

黒木委員。

○黒木騎代春委員

それでは、日本共産党市議団を代表しまして、提出議案のうち、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」及び「議案第4号伊勢市介護保険特別会計予算」の、この二つの議案に反対する立場を表明するとともに、その理由を述べるために、討論を行います。

一般会計予算案に反対する主な理由は、マイナンバー制度に関連する内容を伴うからでございます。

マイナンバー、個人番号制度が始まって1年が経過しました。制度開始前から、個人情報への漏えいや、国民監視のおそれが指摘されてきましたが、ことし2月には、静岡県湖西市で、1,992人分の個人番号が誤って流出するなど、混乱が続いています。

全国的にも、この制度については、普及が進まないと言われている中、伊勢市では、マイナンバーカードの発行は、2月末現在で8,260枚、取得率は6.4%と伺っています。国は毎年5月に事業所に送られる個人住民税特別徴収税額通知書にも従業員の個人番号を記載するよう市区町村に指示しました。この通知書によって、従業員の番号が本人の承諾もなく、各事業所に伝わることとなります。

また、事業主にとっても番号管理の責任は重大で、一方的に郵送されても困る、メリットもないとの声が上がっているとの報道もあります。こういった動きを受け、自治体によっては、記載しないことを表明したり、アスタリスク表示にして、マイナンバーがわからないようにするなどの工夫を行う。

また、送付方法もお金はかかりますが、簡易書留で届けるなど、対応が分かれています。伊勢市としては約6,150事業所に対して4万2,000人を上回る市民のデータを通知書に記載し送付するとしています。

また、送付方法も受け取り時のサイン、記録がない特定記録郵便という方法であり、リスクを伴い、予算に計上された2百万円ほどの負担も生じます。この間の質疑で、情報の安全確保の観点から番号の不記載を初めとする改善を求めましたが、番号法の規定により、提供するとの答弁にとどまりました。

国は各自治体に向け、一部不記載を認めないとの通知をしているそうではありますが、罰則規定はなく、従うべきではありません。市民、事業所、自治体ともにリスクの多い番号付き通知書は中止し、危険なマイナンバー制度の廃止を求める立場から反対するものです。

また、介護保険特別会計に関しては、4月から要支援者向けのサービスが介護予防日常生活支援総合事業に移行します。この総合事業の目的は、総介護費用の抑制と重点化を図るものであり、介護保険創設当初の看板であった介護の社会化の理念を捨てて、再び介護の加速化、介護の商品化に引き戻すものです。

介護保険の制度設計に携わったとされる厚労省の元局長であった堤修三氏がこの改正で、制度の原則を失いつつあり、介護保険は国家的詐欺になると鋭く指摘をしていることでも明らかです。

その弊害を少しでも緩和するために、質問の中でも提案もさせていただきましたが、基準緩和型サービスの導入や生活支援会議の設置などが行われることとなり、必要に応じて、実施されるべきという介護給付のサービス水準を維持することが困難になる懸念があり、賛成しかねると考えます。

以上、主な理由を述べ討論といたします。

◎世古明委員長

他に討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

ただいまから「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を採決いたします。

1件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第1号について、これを原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第1号平成29年度伊勢市一般会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第2号平成29年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第2号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第2号平成29年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第3号平成29年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を採決いたします。
議案第3号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第3号平成29年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第4号平成29年度伊勢市介護保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第4号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第4号平成29年度伊勢市介護保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第5号平成29年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を採決いたします。

議案第5号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第5号平成29年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第6号平成29年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を採決いたします。

議案第6号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第6号平成29年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第7号平成29年度伊勢市土地取得特別会計予算」を採決いたします。

議案第7号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第7号平成29年度伊勢市土地取得特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第8号平成29年度伊勢市病院事業会計予算」を採決いたします。

議案第8号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第8号平成29年度伊勢市病院事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第9号平成29年度伊勢市水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第9号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第9号平成29年度伊勢市水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第10号平成29年度伊勢市下水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第10号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎世古明委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第10号平成29年度伊勢市下水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で、本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古明委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、御協議いただきます案件は終わりました。

これもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

散会 午後1時34分

上記署名する。

平成29年3月23日

委員 長

委 員

委 員